

## 平成29年第4回定例会 議案審査特別員会報告 2017.9.13

檜山直義

審査事項 議案第68号
発言項目 市行政手続等における情報通信技術の利用に関する条例制定
(発言主旨) マイナンバーを使って行政手続きをオンライン上でも可能とする条例制定に関わって、今後に紐付けられる情報が拡大する状況と懸念される情報漏えいに対する考えを質した。
(理事者との応答) Q マイナンバーの利用範囲は、現在「社会保障」「税」「災害対策」に限定されている。現在、どのような情報と紐づけられ、帯広市ではどのように利用されているのか。 A マイナンバーと紐づけられる情報は、地方税の賦課徴収事務や介護保険事務など、番号法の別表第1に定められる事務で必要な情報であり、法令で定められた範囲でそれぞれの事務において必要に応じて利用されている。 Q 今後、3分野以外での行政情報のマイナンバー利用はどのようなことでの拡大が考えられているか。また、地方公共団体は条例で定めることにより、マイナンバーを自治体独自の事務にも利用できるとされるが、どのような事務が想定されるのか。 A 国におけるマイナンバーの利用の拡大については、現段階では詳細は把握していないが、今後、戸籍事務や旅券事務などへの拡大が検討されているものと伺っている。自治体におけるマイナンバーの独自利用については、医療費助成に関する事務などが想定される場所であるものの、帯広市においては、国の定める事務について、マイナンバー制度を確実に運用していくことに留意して進めてきており、市独自の利用の拡大については、国や他市町村の動向を踏まえながら、今後に向けた研究を行ってまいりたい。 Q 今後、機微情報が満載され、利用が拡大される様相だが、故意に、また過失によって起きる事故に常に備えることが重要である。セキュリティ強化対策の現状を伺う。 A マイナンバー自体の利用は、法令で定められた事務に限られており、またマイナンバーカードの民間事業者による利用においても、セキュリティ対策を講じたシステム上で運用されるものと認識しているが、帯広市としても、セキュリティ面を含めて、制度周知の促進に努めてまいりたい。
(意見) マイナンバーが国・地方自治体の行政事務のみで行われるならいざ知らず、今後民間事業でも利用されれば情報漏えいの危険はいや増す。そのときに行政はどのように責任がとれるのか。仮に関知せずとの立場であれば無責任きわまりない。マイナンバーをめぐる刻々の動きを周知すべき。

審査事項	議案62号歳出第20款衛生費（第2号）健康教育事業費
発言項目	国のモデル事業を活用した自殺対策計画の策定、対策事業の実施
	（発言主旨）自殺者は若年者に多く、学校教育との連携が必須であることから、かかる事業内容等を質した。
	（理事者との応答）
	Q 若年者の自殺対策として学校教育との連携が大切。現状と今後の取組みを伺う。
	A これまでの自殺対策の取組のひとつである多分野合同研修会には、教諭やスクールカウンセラーなどの学校教育関係者も主体的に参加いただいております。日頃から子どもや若者の悩みのサインに気づき、見守り、必要な支援につなげられるよう、今後も共通の認識のもと、連携を取りすすめていく。
	（意見）子どもたちが生活する場は学校だけではない。あらゆる場面での支援が必要であり、SOS 出し方教室講師養成は有効な事業である。ぜひ、多くの学校関係者や地域にも広げてほしい。（他議員との重複を避けて質問）

審査事項	議案62号歳出第30款農林水産業費（第3号）畜産振興費
発言項目	家畜ふん尿のバイオマス利用調査等に対する支援
	（発言主旨）平成25年に1市16町村「とがち」がバイオマス産業都市に選定された以降、中核都市である帯広市における待望の事業ある。バイオマスの利用ができるように実現までの取組み等を質した。
	（理事者との応答）
	Q 本事業のスケジュールを伺う。
	A 先月提出した事業計画の認定審査を北海道が行った後、10月には交付決定がなされる予定である。交付決定がなされた以降、11月頃までに「農家ヒアリング調査のとりまとめ」及び「家畜ふん尿以外のバイオマス資源調査」を、12月頃までに「エネルギー（電気、余剰熱）、消化液及び再生敷料の利用検討」を行う。そうした調査等を行った上で、12月から2月にかけて「バイオガス利用モデルの策定」を行う予定。
	（意見）牛の増頭による畜産経営の規模拡大など、これまで以上に帯広の畜産業が発展していくためには、家畜ふん尿処理への対策が欠かせない。市と農協、特に、今はその環境にないとする大正農協にも働きかけ、生産者が一丸となって、地域の現状に沿ったバイオガス利用モデルの策定を進めてほしい。バイオマス都市構想は米沢市政「フードバレーとがち」の核の一端を担うものであり、これを機に「フードバレーとがち」の更なる発展に期待する。（他議員との重複を避けて質問）

【全議員の発言】

1. 民生費（地域介護・福祉空間整備費） 2人  
既存高齢者施設等のスプリンクラー設備設置に対する補助について
2. 土木費（除雪機械購入費） 2人  
北海道が払い下げする除雪トラック 3台分の購入費について
3. 衛生費（健康教育事業費） 2人  
国のモデル事業を活用した自殺対策計画の策定と対策事業の実施について
4. 農林水産業費（畜産振興費） 3人  
家畜ふん尿のバイオマス利用調査等に対する支援について
5. 議案 68号 帯広市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例制定について 2人

【一括討論】 共産党

議案 68号 帯広市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例制定について

現在は書面に限られている行政手続きをオンライン上でも可能にするための条例制定について、条例の一部の表現に法的矛盾があるとして反対意見を述べた。